



東和工業株式会社

本社・工場 〒174-0043 東京都板橋区坂下3丁目29番11号
Tel.03(3968)2301 Fax.03(3966)1801
大阪営業所 〒540-0004 大阪市中央区玉造1丁目6番13号玉造ロイヤルビル7階
Tel.06(6767)4007 Fax.06(6767)4015
埼玉工場 〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町大字上富306番地
Tel.0492(58)3686 Fax.0492(58)3604
鈴鹿工場 〒513-0005 三重県鈴鹿市汲川原町字仁上460番地
Tel.0593(78)2821 Fax.0593(79)3810



国内における80年余の防水の歴史はアスファルト防水熱工法そのものと云って過言ではなく他の防水工法の追従を許さない実績を有し、その高い信頼性は現在もトップシェアを維持している事が実証している反面、火気使用と高温作業による臭気発散の公害性と火災、火傷などの危険性及び熟練を必要とする事による技能工の不足などが従来から問題にされていました。

TBS工法は絶対的とも云える信頼性の根元となっている熱工法の防水層形成の仕組みを引き継ぎながら火気、高温を不要にし、施工の容易化と工程の軽減化を計った典型的な Asphalt Built Up Roof System 常温防水工法です。

TBS工法の特長

1. 積層工法による耐久性の確保

粘弾性豊かな常温可使改質アスファルトを塗布しながら耐老化、耐腐蝕性、延伸性に優れたルーフィングを積層した防水層のため「高い水密性」「余裕ある下地挙動追従性、耐久性」「優れた耐候性」を備えています。

2. アスファルト防水常温工法による公害防止と安全管理

火気使用不要の常温工法で「煤煙、臭気の発生がない」「火災、火傷の危険性がない」無公害で安全作業を可能にします。

3. アスファルト常温工法による省力化

可使時間の長い常温可使改質アスファルトで「施工を容易」にし、工程の軽減で「工期の短縮と省力化」が計れます。



TBS工法の方法

TSビーナス 18kg缶入

アスファルト、油脂類をベースに合成ゴム、無機質繊維、老化防止剤及び必要最小限の溶剤を加えた常温可使用型ペースト状の改質アスファルトコンパウンドです。

● 特長

- (1) 可使時間が長く入念な施工が可能。
- (2) 粘着性、レベリング性に富み、複雑な形状の下地にも十分馴染み、均一な塗膜が形成できる。
- (3) 感温性が小さく、優れた耐候性を有している。
- (4) 粘性挙動を有し下地亀裂に対する抵抗性が大きい。

TSGマット 1m×50m、13kg

ガラス不織布にアスファルトを含浸させたフェルト状下張りルーフィング。

● 特長

- (1) 耐老化性、耐腐蝕性に優れている。
- (2) 柔軟性があり、下地と親和する。
- (3) 適度な剛性があり、ふくれを押さえる効果がある。
- (4) 有孔状のためTSビーナスと馴染みが良く一体となって、完全メンブレン層を形成する。

TSEKルーフ 1m×8m、27kg

ポリエステル長繊維不織布に特殊アスファルトを含浸被覆し表面に砂粒を圧着した露出用仕上げルーフィング。(主に平場用)

● 特長

- (1) 耐老化、耐腐蝕性に優れている。
- (2) ハイモジュラスで適度な剛性を有し、下地亀裂に対する抵抗性が大きい。
- (3) 耐候性に優れている。

TSEKルーフ 1m×8m、25kg

合成繊維織布に特殊アスファルトを含浸被覆し、表面に砂粒を圧着した露出用仕上げルーフィング。(主に立上り用)

● 特長

- (1) 耐老化、耐腐蝕性に優れている。
- (2) 織布独特の柔軟性があり、下地に馴染み易い。
- (3) 耐候性に優れている。

TSEルーフ#150 1m×16m、27kg

ポリエステル長繊維不織布に特殊アスファルトを含浸、被覆した仕上げルーフィング。(主に押え工法の平場用)

● 特長

- (1) 耐老化、耐腐蝕性に優れている。
- (2) ハイモジュラスで適度な剛性を有し、下地亀裂に対する抵抗性が大きい。

TSGルーフ#90 1m×16m、19kg

ガラス織布に特殊アスファルトを含浸、被覆した仕上げルーフィング。(主に押え工法の立上り用、下張りとして使用する場合もある。)

● 特長

- (1) 耐老化、耐腐蝕性に優れている。
- (2) おりふ独特の柔軟性があり、下地に馴染み易い。

クルタルコートシルバー 16kg缶入

アクリル樹脂エマルジョン シルバー塗料

取扱い注意事項

- (1) 水性塗料ですから5℃以下での施工は避けて下さい。
- (2) 降雨、降雪が予想される場合の塗布は避けて下さい。
- (3) 保管は冷暗所に収容して下さい。

品名	荷姿	適用
TSプライマー	15kg 缶入	アスファルト系溶剤型
TSビーナス(下地処理材)	20kg 缶入	アスファルト系溶剤型 下地活性化剤
TSビーナス(立上り用)	18kg 缶入	改質アスファルト溶剤型 常温可使用ペースト状アスファルトコンパウンド
TSコーチング	18kg 缶入	ゴムアスファルト系溶剤型 末端シール及び断熱材接着用
TSGテープ	100mm×20m、2.5kg	目地、亀裂、末端処理テープ
断熱材	厚30mm×605mm×910mm	ガラス面材付硬質ウレタンボード
	厚30mm×910mm×1820mm	発泡ポリエチレン
PPヤーンクロス	1m×100m	絶縁用シート(ポリプロピレンクロス平織)

TBS工法の標準仕様

仕様	部位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
■ 露出防水											
TS-A-1	平場	TSプライマー 0.2kg/m ²	TSビーマス 1.2kg/m ²	TSGマット	TSビーマス 1.0kg/m ²	TSEKルーフ	クルタルコートシルバー 0.4kg/m ²				
	立上り					TSEKPルーフ					
■ 押え防水											
TS-F-1	平場	TSプライマー 0.2kg/m ²	TSビーマス 1.2kg/m ²	TSGマット	TSビーマス 1.0kg/m ²	TSEルーフ#150	PPヤーンクロス				
	立上り					TSGルーフ#90					
TS-F-2	平場	TSプライマー 0.2kg/m ²	TSビーマス 1.2kg/m ²	TSGマット	TSビーマス 1.0kg/m ²	TSGマット	TSビーマス 1.0kg/m ²	TSEルーフ#150	PPヤーンクロス		
	立上り					TSGルーフ#90					
■ 押え断熱防水											
TS-FD-1	平場	TSプライマー 0.2kg/m ²	TSビーマス 1.2kg/m ²	TSGマット	TSビーマス 1.0kg/m ²	TSEルーフ#150	TSコーチング 0.5kg/m ²	断熱材	PPヤーンクロス		
	立上り					TSGルーフ#90					
TS-FD-2	平場	TSプライマー 0.2kg/m ²	TSビーマス 1.2kg/m ²	TSGマット	TSビーマス 1.0kg/m ²	TSGマット	TSビーマス 1.0kg/m ²	TSEルーフ#150	TSコーチング 0.5kg/m ²	断熱材	PPヤーンクロス
	立上り					TSGルーフ#90					

施工手順 (例 TS-A-1)

1. TSプライマーの塗布

下地にTSプライマーを所要量を塗布し十分に乾燥させる。

2. 増張り

出入隅、角部及びドレン廻りはTSビーマス、TSGテープで増張りを行う。

3. TSGマットの張付け

下地にTSビーマスをゴム刷毛などで所要量を均一に塗布しながらTSGマットを敷き張りして、ブラシ等でTSGマットの繊維の空隙にTSビーマスが十分喰い込むよう圧着する。なお、張付けは、立上り、平場の順とし継手は100mm以上のオーバーラップとする。

*必要に応じてTSビーマス立上り用を使用する。

4. TSEKPルーフ、TSEKルーフの張付け

- 立上り部分にTSビーマスをゴム刷毛等で所要量を均一に塗布したのち、TSEKPルーフを空気の抱き込みのないように圧着する。
- 平場部分にTSビーマスをゴム刷毛等で所要量を均一に塗布しながらTSEKルーフを空気の抱き込みのないように敷き張りして、ブラシ等で入念に圧着する。

(各ルーフの継手は100mm以上のオーバーラップとし、一般平場部は水下ルーフに水上ルーフを重ね、反り返りのないよう施工する。)

*ラップ部に日地処理をする場合 (別途工事)

ラップの日地を中心に両側へ等分に、TSGテープを空気の抱き込みのないように通りよく張付け入念に圧着する。

TSGテープの継手は50mm以上とする。

5. シート張り仕舞い

- ドレン・パイプ廻り等のシート端部はTSコーチングでシール処理する。
- 立上り端部は押え金物で押え、その上部にTSコーチングでシール処理する。

6. トップコートの塗布

クルタルコートシルバー所要量を均一に塗布する。

改修工法の場合

既存砂付防水層を残す、又は撤去し雨養生する場合は工程1のTSプライマー 0.2kg/m²をTSビーマス(下地処理用) 1.2kg/m²に替える。

■ 露出防水 例 TS-A-1

